

弱いものイジメで会社は良くなるらない

もっと働く人を大切にすべき



日立空調システムは03/上
が赤字として、派遣の人や臨時
員の60%（90人）を削減し、
それに伴い社員に対しては、営
業・サービス 設計 直接作業
部門への配転が早期退職を選択
するようにと面接が行われまし
た。

派遣の対象業務は本来一時的
なものであり、同一職場で1年
以上働いた場合は、永続的な業
務とみなされ、派遣先で雇用
することが原則です。現に設計
等に派遣されている人達は、以
前の新入社員と実質的には同様
であり、製器開発に実際に携わっ
ている貴重な人たちです。

また派遣の人の抜けた分を補
充するために、社員を一方的に
配置転換するやり方は、本人の
仕事への誇りや意欲を踏みにじ
るものです。このようなことで
他社との競争に打ち勝つことが
できるのでしょうか。

派遣労働者の削減と 社員の配置転換強化と

赤字については経営数値を公
表し、その原因と責任をきちん
と明らかにすべきです。そうし
なければ本当の改革はできない
でしょう。

日立インダストリーズ (旧土浦工場) の 冷熱事業部門が日立空調システムに統合

日立インダストリーズ (旧土浦工場) では、04年4月に会社分割
により冷熱事業部門を日立空調システムに統合すると発表しました。

しかし当の冷熱部門も日立空調もともに赤字の状態です。また賃金
や労働条件も異なるため対象者に不安が広がっており、職場から70
件にも及ぶ質問が出されています。その回答の中で「日立空調は03
年度は黒字の見通し」とか、「賃金水準に相違はない」（一時金は日
立空調の方が1ヶ月も低いし、賃金5%カットも日立空調だけが実施中）
など、「おや？」と首をかしげるような説明がなされています。

日立空調システム
と関連会社で働く
人のネットワーク



オアシス

2003年12月

No.8

発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL(FAX)

0543-65-0433

年収500万円から400万円

日立空調システムの処遇制度改訂 あがしい？自立労組より悪い内容

日立製作所から少し遅れて、日立空調システムでも処遇制度の改定案が発表されました。その内容の多くは日立製作所のものをコピーしたようなものですが、重要な所で一層劣悪な内容となつていきます。

処遇制度の改訂に伴い、多くの中高年労働者は賃下げになります。日立労組の場合、制度改訂により賃下げとなった場合は現状の賃金を定年まで維持することになっていきます。この場合でも実質的に賃上げがなくなり、不利益変更になります。

ところが日立空調システム労組の場合は、現状の賃金補償は3年間となつており、その後は賃下げとなります。その結果、現状で年収500万円程度の労働者が、100万円も賃下げになる計算となります。これでは子供の教育費なども支払えなくなり、重大な生活破壊を招くことになります。

また発表された基本賃金も、総合職では約9000円、執務・技能職では約5000円も日立労組より低くなつていきます。日立労組が世間並みとして発表し

た賃金より低いということ、日立空調システム労組は明らかに世間水準以下ということになります。

職場では、まともな職場討議も行われず、一方的に改訂が進められようとしていきます。労働者の同意のない一方的な賃下げは、明らかに不利益変更となり法的拘束力はありません。労働組合の主人公は組合員です。執行部は組合員にきちんと説明をする義務があります。また大幅な賃上げなど、現状に対する不利益変更は撤回を求めていくのが当然です。みんなでもつと声をあげて生活を守っていきましよう。

